

# 第 3 次 静岡市産業振興プラン 策 定 方 針 （ 骨 子 案 ）

---

令和 4 年 3 月 17 日

静岡市 経済局  
商工部 産業政策課

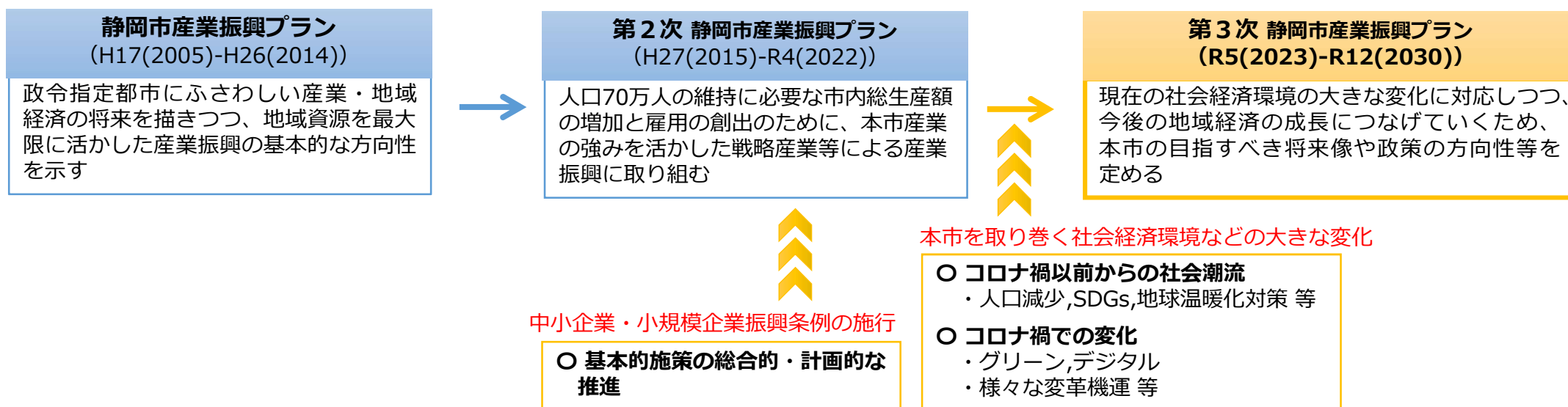


# 1-1 はじめに

- 第3次総合計画と同じく令和4年度（2022年度）末で計画期間が終了する「第2次産業振興プラン」の後継として、現在の**社会経済環境の大きな変化に対応し**、本市の産業・経済分野での**目指すべき将来像と政策の方向性等**を定める「**第3次産業振興プラン**」を策定する。
- 第3次産業振興プランは、次の第4次静岡市総合計画の下位計画として産業振興に関わる分野での事業を推進する計画として位置付けるとともに、静岡市中小企業・小規模企業振興条例で策定が規定されている「**中小企業・小規模企業の振興に関する計画**」としても位置付ける。

## 1 第3次産業振興プランの策定の背景・趣旨

- ・ 本市は豊かな自然環境に加え、地理的要件、また古くからの地場産業、人と物の交流、さらには清水港の発展などにより幅広い分野の産業が多彩にバランスよく集積。
- ・ しかし、人口減少や少子高齢化、グローバル化の振興や新たな感染症の発生、脱炭素化の機運の高まりなどにより**本市を取り巻く社会経済環境は大きく変化**。
- ・ また、地域社会が一体となり本市経済を支える中小企業の振興に取り組むため、平成31年(2019年)4月「**静岡市中小企業・小規模企業振興条例**」を施行。
- ・ これらを踏まえ、現在の第2次プランに引き続く第3次産業振興プランを策定し、今後の本市経済の成長等につなげていくこととする。



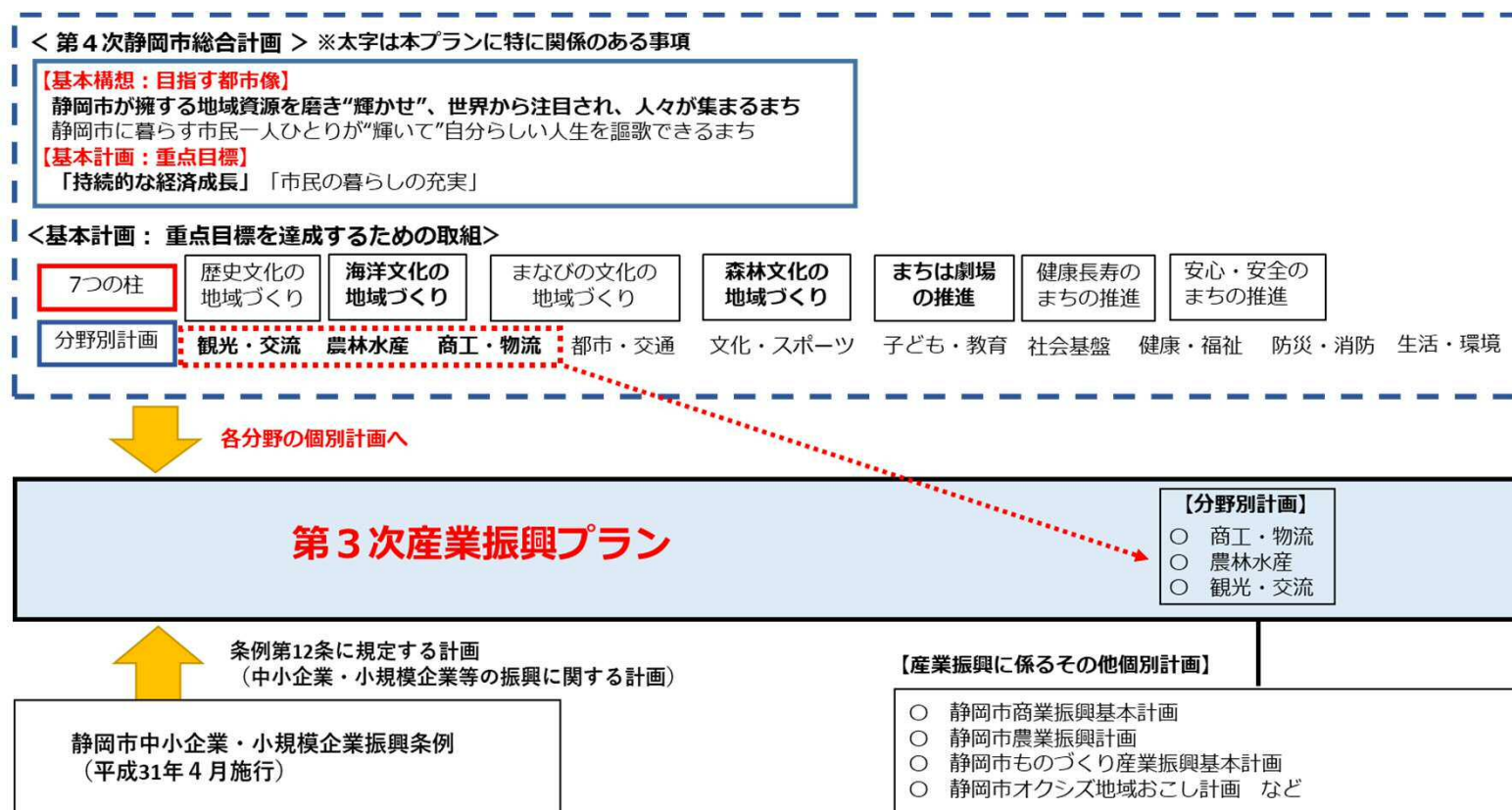
## 2 プランの位置づけ

### (1) 第4次 静岡市総合計画との関係

- 現在策定中の第4次静岡市総合計画（R5(2023)~R12(2030),以下「4次総」という）では、基本計画における重点目標として「**持続的な経済成長**」「市民の暮らしの充実」が掲げられており、第3次産業振興プランは**4次総の下位計画**として**産業振興に関わる分野での事業を推進する計画**として位置付ける。
- また本プランは、経済分野（「商工・物流分野」及び「農林水産分野」）における個別計画（商業振興基本計画,農業振興計画等）に対してはその上位計画に位置付けるものとする。

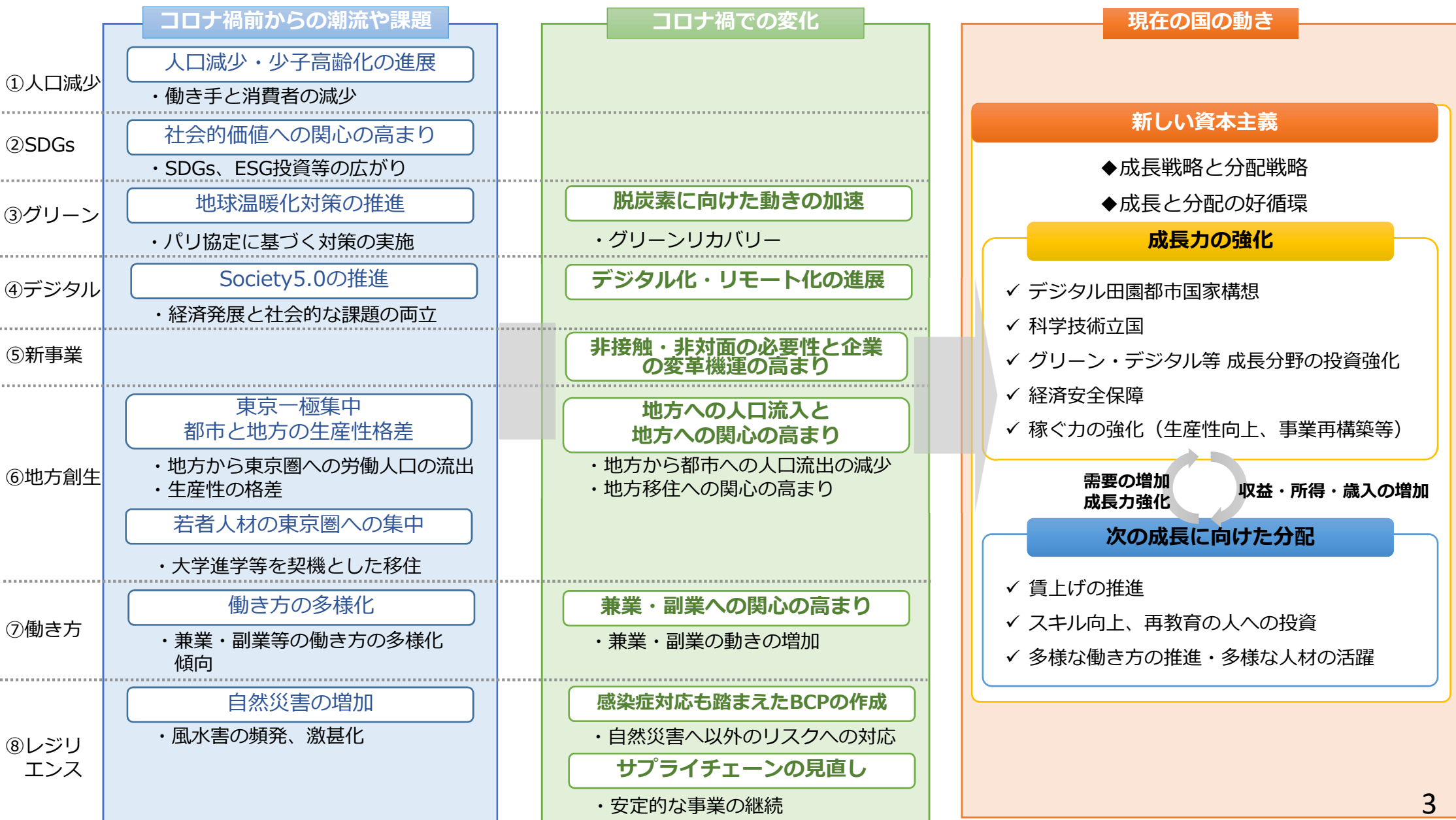
### (2) 静岡市中小企業・小規模企業振興条例との関係

- 静岡市中小企業・小規模企業振興条例では、人材の確保・育成をはじめとする「基本的施策」を総合的・計画的に推進するため、「**中小企業・小規模企業の振興に関する計画**を策定する」としており、本プランをこの計画として位置付けることとする。



## 2-1 現状の整理 ～ ①社会状況

- コロナ禍以前からの潮流や課題として、「人口減少」「SDGs」「地球温暖化対策」「Society5.0」「地方創生」「働き方」等が存在。
- コロナ禍での変化として、「グリーン・デジタル」「新事業につながる変革機運の高まり」「地方への人口流入」「兼業・副業」「レジリエンスの強化」等の動きが加速。
- 現在国においては「新しい資本主義」の考えの下、コロナ前後の変化等を踏まえ「成長と分配」の両側面からの施策を実施。

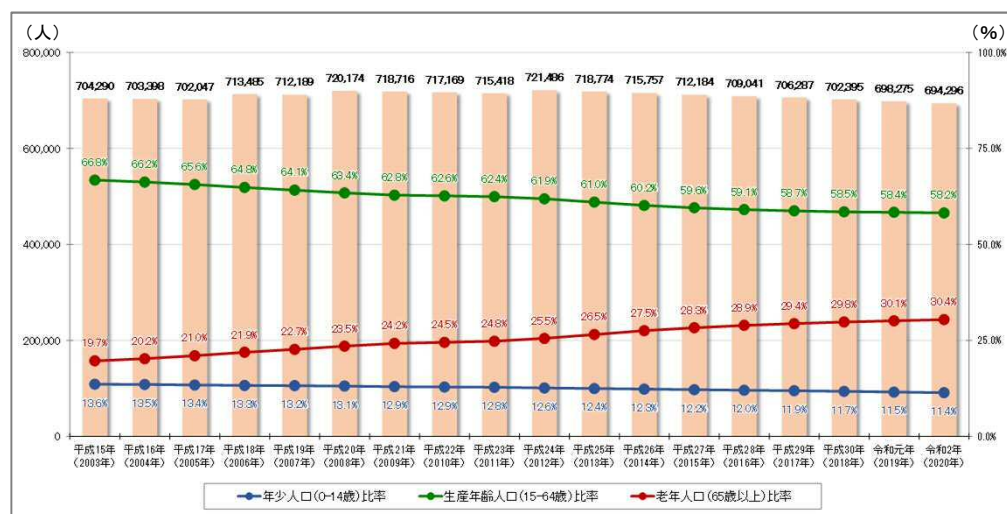


## 2-2 現状の整理 ～ ②市内産業の状況

- 人口減少に伴い、事業所数、従業員数の減少が見られるが、**市内総生産額、製造品出荷額及び粗付加価値額は増加**。
- 市内総生産のうち製造業が約27%と最も割合が大きく、製造品出荷額のうち約42%を「電気機械器具」が占める。
- 企業の経営上の課題は、ここ最近では「原材料価格の上昇」であるが、**中長期的には「労働力不足」**が継続。
- 本市の**開業率**は、全国平均、政令指定都市間で比べても**低い水準**。

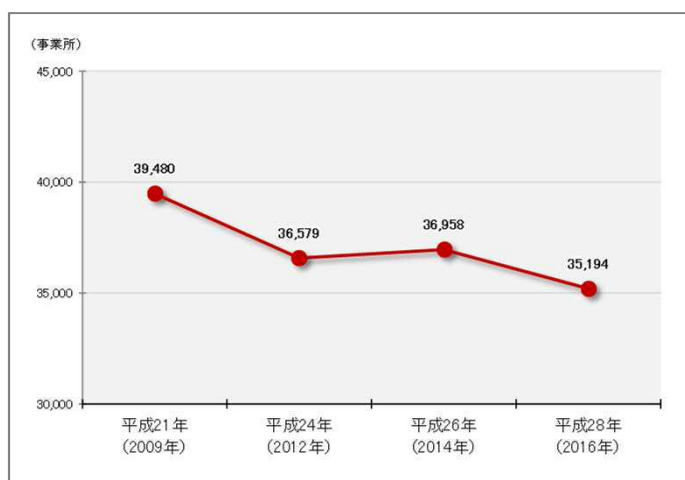
### 1 統計データ

#### ①人口



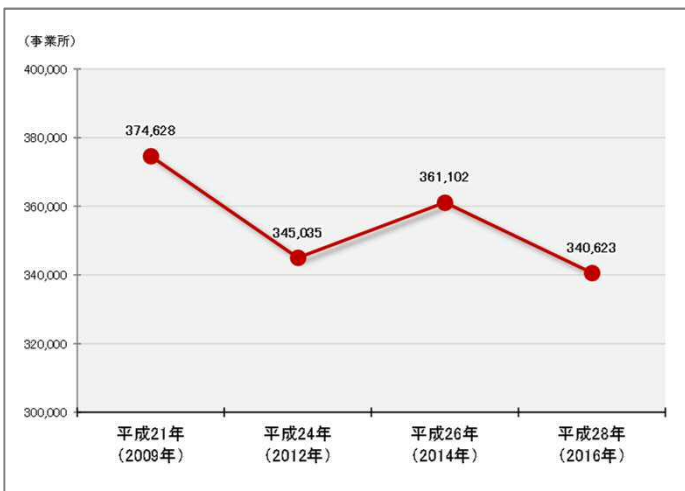
- 令和2年12月31日時点で694,296人であり、平成2年をピークに人口減少に転じており、令和元年に初めて70万人を下回った
- 年少人口、生産年齢人口の減少と老年人口の増加により、少子高齢化が進行

#### ②市内事業所数



- 平成28年（2016年）の市内事業所数は35,194事業所で、平成26年の調査時点から約1,700減少
- 産業別では「卸売・小売業」の事業所数が最も多い

#### ③市内従業員数



- 平成28年（2016年）の市内従業員数は340,623人で、平成26年の調査時点から約2万人減少
- 産業別では「卸売・小売業」「製造業」の従業員数が多く、他の政令指定都市と比較すると、第2次産業の割合が高くなっている。



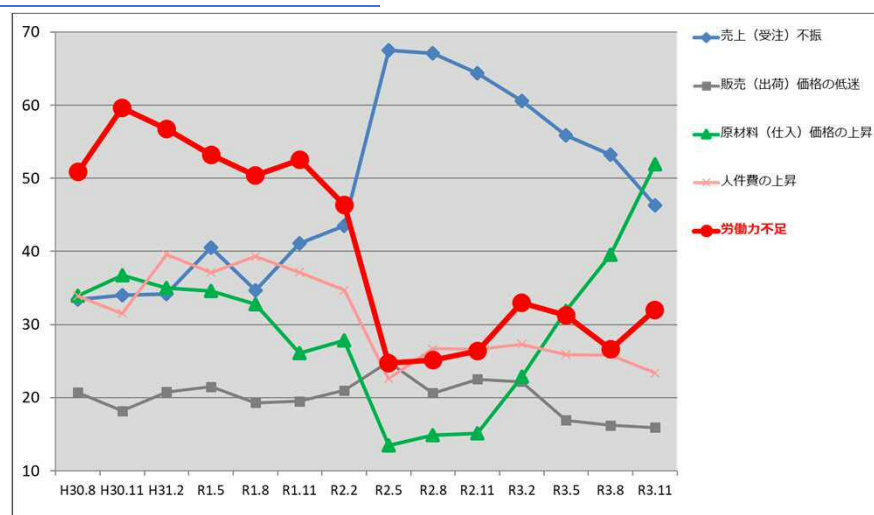
## 2-3 現状の整理 ～ ②市内産業の状況

### ④市内総生産額



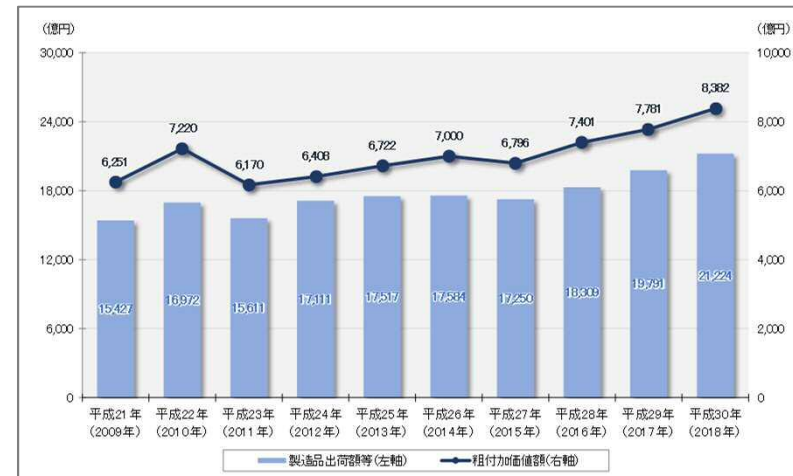
- 平成30年(2018年)に過去最高の3,347,266百万円となっており、産業別では製造業が約27%を占めている

### ⑥自社の経営上の課題



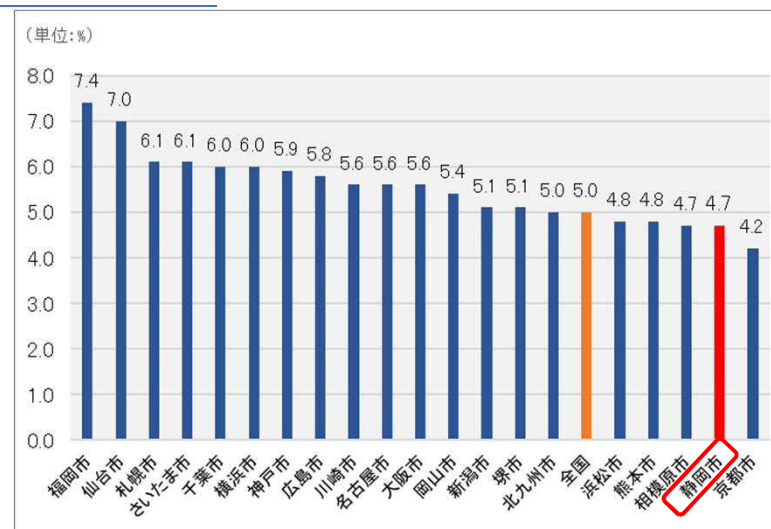
- 市景況調査ではコロナ禍前までの長期間「労働力不足」の回答が最も多く、一時的に減少したものの最近、増加傾向。

### ⑤製造品出荷額・粗付加価値額



- 平成30年(2018年)における製造品出荷額等は平成29年から約1,400億円増加し、過去最高の2兆1,224億円となり、うち約42%が電気機械器具、次に食料品が約12%となっている
- 粗付加価値額も8,382億円で過去最高となっており、前年から約600億円増加

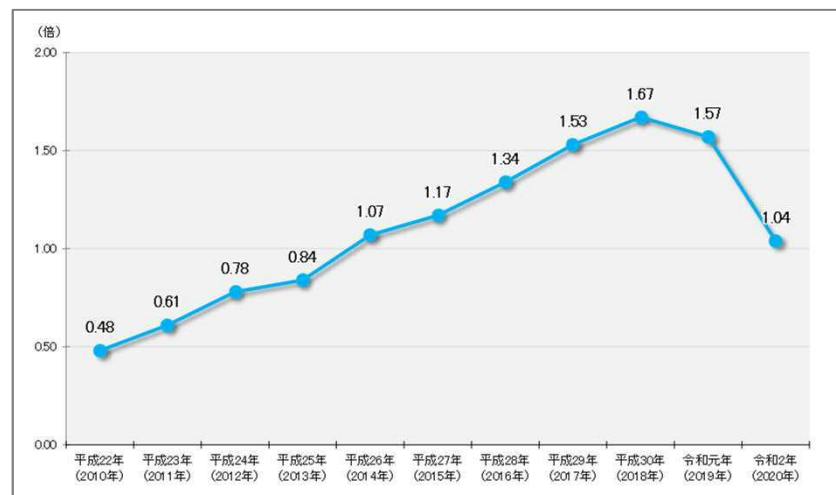
### ⑦開業率



- 平成28年(2016年)における事業所の開業率4.7%と全国平均及び政令市間でも低い水準に留まっている。

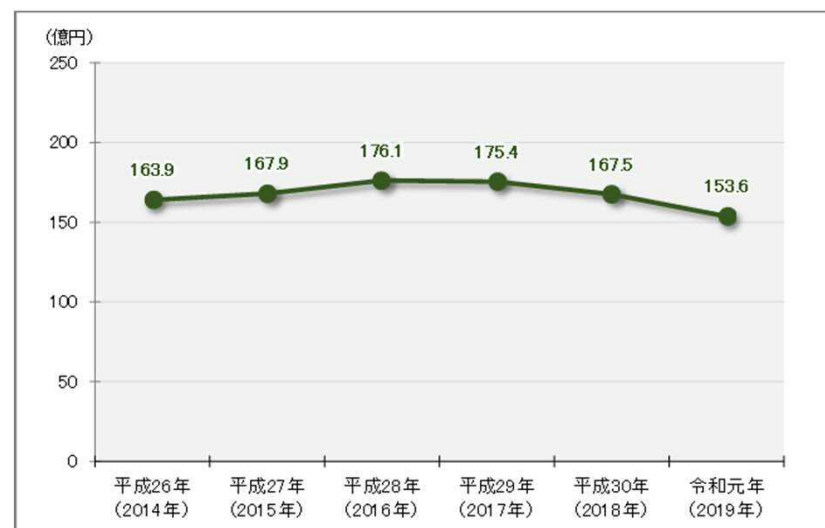
## 2-4 現状の整理 ～ ②市内産業の状況

### ⑨有効求人倍率



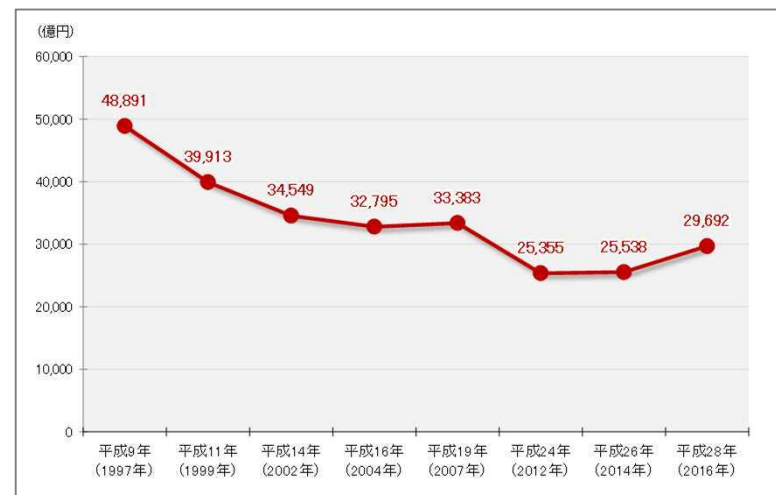
□ 静岡労働局管内の有効求人倍率は近年上昇傾向にあったが、令和2年（2020年）には、新型コロナウイルスの影響により、1.04まで減少

### ⑩農業算出額



□ 令和元年（2019年）における農業産出額は153.6億円で、前年から約14億円減少

### ⑧卸売・小売業の年間販売額



□ 平成28年（2016年）における卸売・小売業の年間販売額は29,692億円で、前回調査時点から約4,000億円増加

### ⑪観光入込客数



□ 令和元年度（2019年度）の観光入込客数は26,329,067人であり、静岡市内の主要観光地別にみると、登呂・日本平が6,205,164人、三保が930,250人、オクシズ（井川・梅ヶ島）が147,861人

□ 特に、登呂・日本平では、「日本平夢テラス」のオープンによる観光入込客の増加が見受けられる

# 3-1 第2次産業振興プランの振り返り

- プランの全体目標として、令和4年度に**市内総生産額 3兆2,140億円**（平成26年度比+4.1%）、**市内就業者数343,100人**（平成26年度の維持）を掲げている
- また「産業振興の方向」として、「1 戦略産業の振興」「2 産業振興プラットフォーム」「3 人材の確保・育成」の3点を定めている

## 1 第2次産業振興プランの概要

### < 第3次静岡市総合計画 >

【重点プロジェクト】 「世界に輝く『静岡』の実現」  
「創造する力」による「都市の発展」 → 経済・産業の振興

<中枢都市> ③社会経済の変化に対応すべく、本市の強みを生かした戦略産業を選び、集中的に支援・育成するとともに、個々の企業のニーズに合わせた、きめ細かな支援と人材育成を行うことにより、地域経済の活性化と雇用の拡大を推進します。

【分野別計画】

1 商工・物流

2 観光・交流

3 農林・水産



◎ 全体目標（令和4年度）：市内総生産額：3兆2,140億円      市内就業者数：343,100人

【産業振興の方向】

1 戦略産業の振興

① 海洋・エネルギー産業

② 清水港・ロジスティクス産業

③ 食品・ヘルスケア産業

④ 観光・ブランド産業

⑤ 文化・クリエイティブ産業

2 産業振興プラットフォーム

3 人材の確保・育成

【分野別計画】

〔商工・物流〕

魅力的な人と企業が出合い、世界に誇れる価値を創造するまち

〔観光・交流〕

国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまち

〔農林水産〕

山から海の多彩な資源を活かして、人や地域が潤う農林水産の盛んなまち



## 3-2 第2次産業振興プランの振り返り

○「全体目標」及び「産業振興の方向における目標」における各成果目標については、現時点ではプラン最終年度には概ね達成と見込んでいる。

○ただし、コロナの影響を受ける「観光・ブランド」、また「新規開業者数」については現状では達成が難しい状況。

### 2 実績と評価

#### (1) 数値指標に基づく実績と評価

◎…既に目標を上回っている ○…目標は達成していないものの実績値は向上している  
△…目標を達成しておらず、数値が横ばい又は下降している

分野等	活動指標	R4(2022) 目標値	実績 (R2(2020))	評価
全体目標				
市内経済の活性化	市内総生産額	3兆2,140億円	3兆3,472億円 (H30(2018))	◎
雇用の創出	市内就業者数	343,100人	340,623人 (H28(2016))	○
産業振興の方向における目標				
1 戦略産業の振興				
①海洋・エネルギー	海洋産業クラスター創造事業 マッチング件数	延べ24件	延べ15件	○
②清水港・ロジスティクス	ロジスティクス関連企業 立地件数	延べ17件	延べ22件	◎
	清水港コンテナ取扱個数	676,400TEU/年	514,239TEU/年	○
③食品・ヘルスケア	健康・食品クラスター形成事業 事業化件数	延べ32件	延べ21件	○
	販路開拓 商談成約件数	延べ46件	延べ40件	○
④観光・ブランド	観光関連施設・ イベント入込客数	9,952千人/年	4,934千人/年	△
	外国人宿泊者数	94千人/年	5千人/年	△
⑤文化・クリエイティブ	クリエイターとのビジネスマッチング参加企業数	延べ40社	延べ44社	◎
	海外等の展示会参加者数	延べ24人	延べ22人	○
2 産業振興プラットフォーム	新商品開発・新分野進出等件数	延べ38件	延べ34件	○
3 人材の確保・育成	新規開業者数	798件/年	630件/年 (H28(2016))	△
	地域産業・大学等交流会 ①参加企業数	80社/年	74社/年	○
	地域産業・大学等交流会 ②参加大学数	80校/年	70校/年	○
	多様な人材の活躍表彰事業所数	延べ45件	延べ39件	○

## (2) 各取組による実績と評価

## 1 戦略産業の振興



## ①【海洋・エネルギー産業】

豊かな海洋資源を有する本市の立地を生かした産業の育成を目指す。  
また、今後の成長が見込まれるエネルギー産業の産業化を進めていく。

## 主な取組

- 海洋産業クラスター創造事業
- 静岡型水素タウン促進事業

## 主要な実績

- 海洋産業クラスター創造事業
  - 海洋産業クラスタービジョンの策定
  - 産学協同研究による事業化（三保サーモン・シラス缶詰）
  - 水中ドローンローカルシェアプロジェクト・サクラエビプロジェクト・アカモクプロジェクトの推進
- 静岡型水素タウン促進事業
  - 水素エネルギー利活用促進計画の策定
  - 県内で唯一の県内初となる定置式水素ステーションの設置（H29）
- その他
  - グリーン電力地産地消事業（コンソーシアムの創設）

## 評 価

海洋については具体的な事業化（三保サーモン・シラス缶詰）実績を有するとともに、水中ドローンやサクラエビ漁業支援システムなど新たな案件もあり、駿河湾に面する本市の強みを活かして更なる促進が期待できる。

エネルギーについては、水素の活用の面での取組がなされており、現在の脱炭素の流れを踏まえ、今後のビジネスモデルづくり等、産業化に向けた動きを進めていく必要がある。

○「産業振興の方向」（1 戦略産業の振興、2 産業振興プラットフォーム、3 人材の確保・育成）それぞれの取組については、実績等をから**基本的には引き続き実施すべき**と考えるが、**社会潮流や国・県の政策動向等を踏まえた検討は必要**と考えており、それらについては今後実施予定。



## ②【清水港・ロジスティクス産業】

清水港に集積する物流産業を中心として、高速道路などの社会基盤の活用と内陸拠点の整備・連携により、高率的で強いロジスティクス産業として育てていく。

## 主な取組

- ロジスティクス産業立地促進事業
- 清水港ポートセールスの実施
- 大谷・小鹿まちづくり計画推進事業
- 新東名、中部横断道の整備促進

## 主要な実績

- ロジスティクス産業立地促進事業
  - 海運4社による新興津国際物流センターの立地（R2）
- 清水港ポートセールスの実施
  - ポートセールスによるコンテナ船航路の確保（現在26航路）
  - オンラインによる国内ポートセールスの実施（甲府）（R3）
- 大谷・小鹿まちづくり計画推進事業
  - 日本平久能山スマートインターチェンジの供用開始・アクセス道路の整備
  - 大谷・小鹿地区 工業・物流エリア（恩田原・片山地区）区画整理の実施
- 新東名、中部横断道の整備促進
  - 中部横断自動車道の全面開通
  - 両河内スマートインターチェンジの整備検討開始（国土交通省の新規準備段階調査箇所を選定・準備会の開催）

## 評 価

コロナ禍の影響があるものの、清水港や中部横断道等の社会基盤の整備推進と相まって、ロジスティック関連企業の立地が進むなど着実に成果が出ている。

このような現在の様々な流れを引き続き活かして、今後も進めていく必要がある。



## ③【食品・ヘルスケア産業】

有力メーカーや研究機関が集積している食品産業を基盤として、医療、介護など成長著しいヘルスケア産業の育成につなげることで産業化を進めていく。

## 主な取組

- 健康食品産業クラスター形成事業（フーズサイエンスヒルズプロジェクト）
- 中小企業海外展開支援事業（フードタイペイ）
- ふるさと農力チャレンジ事業

## 主要な実績

- **健康食品産業クラスター形成事業（フーズサイエンスヒルズプロジェクト）**
  - 健康食メニュー開発事業（メディシェフ）
- **中小企業海外展開支援事業（フードタイペイ）**
  - 海外食品見本市（フードタイペイ）への出展支援
- **ふるさと農力チャレンジ事業**
  - 新規事業に取り組む農業事業者に対する、加工用機械等の導入、販売施設の整備、新商品開発のための調査研究費等の補助

## 評 価

新商品を開発しようとする事業者に対する産学官連携による支援（専門的アドバイスやビジネスマッチング支援）や海外食品見本市（フードタイペイ）への出展支援等を積極的に行うことにより、事業者の商品開発や海外を含めた販路拡大、また農業事業者に対する6次産業化に向けた新規事業への取組について推進できている。

しかしながら、ヘルスケア産業への育成につなげる点についてはまだ道半ばであり、今後に向けての課題と考える。



## ④【観光・ブランド産業】

外国人観光客の急増を背景に成長著しい観光産業の流れに乗るために、文化、歴史資源を活用するとともに、お茶やホビーなど、世界的なブランド力を持つ産業の聖地化と観光的な活用を進める。

## 主な取組

- 中部地域連携DMO事業
- MICE誘致、海外プロモーションの実施
- お茶・ホビー・まぐろのまち静岡推進事業

## 主要な実績

- **中部地域連携DMO事業**
  - Learn（学び）・Tea（茶）・Sea（海）の3つの戦略に基づく観光コンテンツの開発やプロモーション（茶の間、茶氷、酔茶等）
- **MICE誘致、海外プロモーションの実施**
  - 韓国、台湾へのブログやインターネット広告等での情報発信
  - 本市での全国大会開催に対する補助事業の実施
- **お茶・ホビー・まぐろのまち静岡推進事業**
  - 「お茶のまち静岡市」HPを通じた情報発信やお茶ツーリズムの紹介
  - 「プラモニユメント」の設置や市民向けプラモデル講座開催等、「プラモデルプライドプロジェクト」の推進
  - 「マグロ祭り」の開催や中部横断道沿線でのPR活動の実施
- **その他**
  - 三保松原文化創造センター、日本平夢テラス等の整備

## 評 価

コロナ禍の影響を大きく受けているものの、人口減少下において「交流人口の拡大」の面から力を入れて取り組んでいる分野であり、国内・国外を含めた様々な取組が進んでいる。

観光については、コロナ後を見据え今後も進めていくこと、またブランド産業については、特にホビー分野 プラモデルを活用した事業が進められており、本市の強みを活かした取組として引き続き進める必要がある。



### ⑤【文化・クリエイティブ産業】

家康時代に駿府へ集積した職人に始まるクリエイティビティの歴史を受けて、クール・ジャパンなどのコンテンツ産業や、工業製品の高付加価値化に寄与するプロダクトデザインなどを手掛けるクリエイターの集積を図る。

#### 主な取組

- C.C.C 文化クリエイティブ産業振興センターの管理運営事業
- 世界にはばたくクリエイター支援事業
- 若手クリエイター海外展開支援事業

#### 主要な実績

- **C.C.C 文化クリエイティブ産業振興センターの管理運営事業**
  - C.C.C文化クリエイティブ産業振興センターの移転整備
  - 「まち劇場」との連携によりまちの賑わいづくりの実施（七間町ハプニングなど）
  - クリエーターズハブ（データベース）や各種支援制度によるクリエイターの街中への集積
- **世界にはばたくクリエイター支援事業**
  - クリエーターの海外展示会への出展支援
- **若手クリエイター海外展開支援事業**
  - 市クリエイター（陶芸家、竹工芸）とイタリアの現地デザイナーのマッチングによる商品開発支援



#### 評 価

産業支援機関であるCCCを中心に着実に成果をあげている。クリエイターの集積数や事業者からの相談件数は増加傾向にあり、クリエイター・市民・事業者など幅広い層を巻き込んで文化・クリエイティブ産業の振興がなされている。

今後は、まちは劇場など地域のにぎわい創出との連携を深くしつつ、さらに幅広い分野での取組を推進していく必要がある。

# 3-6 第2次産業振興プランの振り返り

## 2 産業振興プラットフォーム

新商品開発や新分野に進出しようとする事業者など企業の課題に応じ、専門的な情報やノウハウなどを有する複数の産業支援機関が連携し、支援を実施。

### 主な取組

- 産業支援機関の連携等による各種支援事業の実施
- 静岡市コ・クリエーションスペースの開設

### 主な支援事例

- 産業支援機関の連携等による各種支援事業の実施
  - 静岡エールマーケットの開催（R2）  
新型コロナウイルス感染拡大に伴い、販路縮小を余儀なくされた事業者を中心に、新静岡セノバにて販売会を実施
  - いちご狩り農園  
市産学交流センターのおみやプロジェクトや専門家派遣事業を通じた支援、また農業政策課のふるさと農力チャレンジ補助金による店舗改装支援の実施
  - 製茶問屋（H30）  
茶の製造・販売システムの導入検討について静岡商工会議所と連携して支援を実施
- 静岡市コ・クリエーションスペースの開設（R3）
  - 市内企業、首都圏企業、学生、行政等が一体となって、オープンイノベーションを生み出すための施設の開設と運営

### 評 価

新商品開発や新分野進出に取り組もうとする事業者に対し、複数の産業支援機関が連携し、事業の企画から販路までを見据えて支援を行った結果、異業種の事業者とのマッチングによる新商品開発や販路開拓等を推進することができている。また、コ・クリエーションスペースの設置など新たな取組も進んでいる。

コロナ禍で新事業への取組等が必要とされる中、更に力を入れて進めるべき取組である。

## 3 人材の確保・育成

地域社会や産業の基盤を支える労働力を確保するため、魅力ある職場づくりの支援や情報発信・マッチングに取り組むとともに次世代を含めた担い手の育成等を行う。

### 主な取組

- 働き方改革の実現に向けた企業支援
- 女性の活躍応援プロジェクト
- 人材マッチング推進事業
- 若者の地元就職・UIターン就職の促進事業

### 主要な成果

- 働き方改革の実現に向けた企業支援
- 女性の活躍応援プロジェクト
  - 静岡市グッド・パートナーズ表彰  
（SDGs連携アワード表彰・しずおか女子きらっ☆ブランド認定・CSRパートナー企業表彰・中小企業技術表彰・多様な人材の活躍応援事業所表彰）
  - 経営者・管理職等に向けた「ダイバーシティ」推進に関するセミナーの開催 等
- 人材マッチング推進事業
  - NEXTワークしずおかの設置（求人検索・応募、研修・セミナー、個別相談）
- 若者の地元就職・UIターン就職の促進事業
  - 若者就活応援サイト「しずまっち」の運営（企業探索・セミナー等の発信）
- その他
  - ものづくりプラモデル大学の開催

### 評 価

事業者の取り組みを促すための各種顕彰事業や、「NEXTワークしずおか」や「しずまっち」の運営等による求人・企業情報の提供や各種セミナー等の実施を積極的に行うことにより、市内の労働力を確保するための企業の情報発信や人材のマッチングに取り組むことができている。

人材の確保・育成は今後の重要課題の一つであることから、人材の掘り起こしや人材の流出防止に向けた取り組み等、引き続き積極的に行っていく必要がある。



# 3-7 第2次産業振興プランの振り返り

- 総括的な評価としては、**数値指標、実施事業ともに概ね順調に進捗**している。
- **次期プラン策定に向けた課題**として「社会的潮流や変化の速さへの的確な対応」「戦略産業分野の改めでの検討」「コロナの影響を受ける事業のリスタート」「横断的な課題の施策検討」がある。
- **プラン推進における課題**としては「目指す姿（将来像）の設定」「PDCAによる適切な進捗管理」がある。

## （3）総括的な評価と課題の抽出

### ①総括的な評価

- 全体目標・産業振興の方向における目標等の数値指標についてはプラン最終年度までには概ね達成見込み。
- 物流関連企業の立地や産学官連携による海洋資源を活用した産業化など、本市の強みを活かし地域経済をけん引する「戦略産業」の振興・創出が図られた。
- コ・クリエーションスペースの設置など、様々な主体による「連携型の支援体制」が構築できた。
- NEXTワークしずおかの設置等をはじめ、「多様な人材の確保・育成」が推進できた。
- 中小企業・小規模企業振興条例を策定し、中小企業支援施策の軸が明確になり、プランに反映できた。

### ②課題の抽出

#### 次期プラン策定に向けた課題

##### 社会的潮流や変化の速さへの的確な対応

コロナ禍等により、社会的な環境や価値観が大きく変化しており、それを踏まえることが必要

##### 戦略産業分野（重点的に振興する分野）の改めでの検討

海洋、ロジスティクス、プラモデル等本市の強みとなる分野を更に活かしつつ、時代の潮流等を踏まえた改めでの検討が必要

##### コロナの影響を受ける事業のリスタート

観光分野を中心にコロナにより縮小・中止となっている事業の再構築やリスタートの検討が必要

##### 産業振興上の横断的な課題の位置付けと施策検討

「起業」「人材の確保・育成」「土地利用」等、業種・分野を問わない課題についてプランに位置付け、施策の検討が必要

#### プラン推進における課題

##### 「目指す姿（将来像）」の設定

公民連携で、各種施策を効果的に実施していくためにも目標を共有するための姿が必要

##### PDCAによる適切な進捗管理

8年間の計画について年度毎の進捗管理を適切に図るための仕組みが必要

- 「社会状況」「市内産業の現状」「第2次産業振興プランの成果と課題」及び「外部関係者からの意見」等については以下のとおり。
- **グリーン・デジタル**等コロナ禍での変化、**製造業を中心とする市内産業の伸長や労働力不足や開業率等の市内産業の現状と課題、ロジスティクス、プラモデル等**本市の強みとなる産業の活用、**社会状況をしっかりと踏まえた事業立て**など第3次プランに向けての意見等を挙げている。

### 社会状況

- コロナ禍以前からの社会潮流として「**人口減少**」「**SDGs**」「**地球温暖化対策**」「**Society5.0**」「**地方創生**」「**働き方**」「**BCP**」等が存在。
- これらの潮流について、コロナ禍において
  - ・ **グリーンとデジタル**への取組
  - ・ **地方への人口流入**
  - ・ **兼業・副業**への関心の高まりと取組
  - ・ **BCP**の作成
 等についての動きが加速。

### 市内産業の現状

- 人口減少に伴い、事業所数及び従業員数の減少が見られるが、**市内総生産額、製造品出荷額及び粗付加価値額は増加**している。
- 市内総生産額のうち、**製造業が約27%**と最も大きく、金額及び増加率ともに一番伸びている。
- 製造品出荷額においては、**約42%が「電気機械器具製造業」**で、約12%で「食料品製造業」が続いている。
- 市内企業の「**経営上の課題**」は、現状では「売上(受注)不振」「原材料(仕入)価格の上昇」であるが、中長期的には「**労働力不足**」。
- 全国的に廃業率が開業率を上回る中、本市は**開業率**が全国平均や政令指定都市の間でも**低い**。
- 農家数、耕地面積等と共に**農業算出額が減少**している。

### 第2次産業振興プランの成果と課題

#### 【成果】

- **数値指標**についてはプラン最終年度までには**概ね達成見込み**。
- 本市の強みを活かした「**戦略産業の振興・創出**」、様々な主体による「**連携型の支援体制**」の構築、「**多様な人材の確保・育成**」等がそれぞれできた。
- **中小企業・小規模企業振興条例の策定**と施策の明確化。

#### 【課題】

- 次期プラン策定に向けては「**社会的潮流や変化の速さへの的確な対応**」「**戦略産業分野の改めでの検討**」「**コロナの影響を受ける事業のリスタート**」「**横断的な課題の施策検討**」がある。
- プラン推進においては「**目指す姿(将来像)の設定**」「**PDCAによる適切な進捗管理**」がある。

### 外部関係者からの意見

#### 市中小企業・小規模企業応援会議（中小企業経営者、支援機関等）

- 「**社会状況**」記載の観点は、**現在の事業者支援におけるテーマと合致**しているので、具体的な事業としてしっかりと反映すべきである。
- 「**目指すべき姿**」の明示が必要ではないか。
- 産業の担い手確保の観点から「**人口減少への対応**」、また「**働き方の変化**」や「**多様な働き方**」等への視点が必要ではないか。
- 商業の活性化、消費促進の観点等から「**まちの賑わい**」の視点が必要ではないか。
- **PDCA**をしっかりと回していく仕組みが必要ではないか。

#### 外部有識者（大学教授）

- 全ての産業を大きくしていくことは難しいが、**どういう産業を伸ばしていくのかというイメージは必要**ではないか。
- 産業政策として「**社会・経済課題の解決＝ミッション志向**」の視点が必要。

○ 現状分析等に基づき、プラン策定における視点として、「産業振興」「プラン推進」の双方について以下15の視点を提示。

○ このうち「産業振興における視点」については、「企業」「人」「地域」の観点から整理を行った。

### 産業振興における視点

#### 1 企業の積極的な取り組みを支援する

- ① 新事業の創出・事業再構築の実施
  - ・オープンイノベーションの推進
  - ・事業再構築補助金の申請支援
- ② 起業・創業の推進
  - ・産学交流センター等での起業支援の充実
  - ・次世代を含めた起業人材の育成
- ③ 脱炭素の推進
  - ・機器の導入支援
  - ・新事業創出支援
- ④ デジタル化・DXの推進
  - ・機器の導入支援
  - ・DXの構築支援
- ⑤ 社会的な課題への対応
  - ・SDGsの取組の推進
  - ・社会課題に対する技術開発支援
- ⑥ レジリエンス対応
  - ・BCPの策定支援
  - ・BCPに基づく訓練の実施支援
- ⑦ 基幹産業や重点的に振興すべき産業分野（戦略産業）の振興
  - ・基幹産業や振興すべき産業分野の設定
  - ・振興方策の検討、施策の盛り込み
- ⑧ 連携型の支援体制の充実
  - ・関係機関と連携した支援
  - ・コ・クリエーションスペースとの連携

#### 2 産業を支える人材を確保・育成する

- ⑨ 人材育成・リスキリングの推進
  - ・様々な人材育成機会の創出
  - ・企業の人材育成等への支援
- ⑩ 多様な働き方の推進
  - ・兼業・副業の推進
  - ・女性、高齢者、障がい者の就労支援

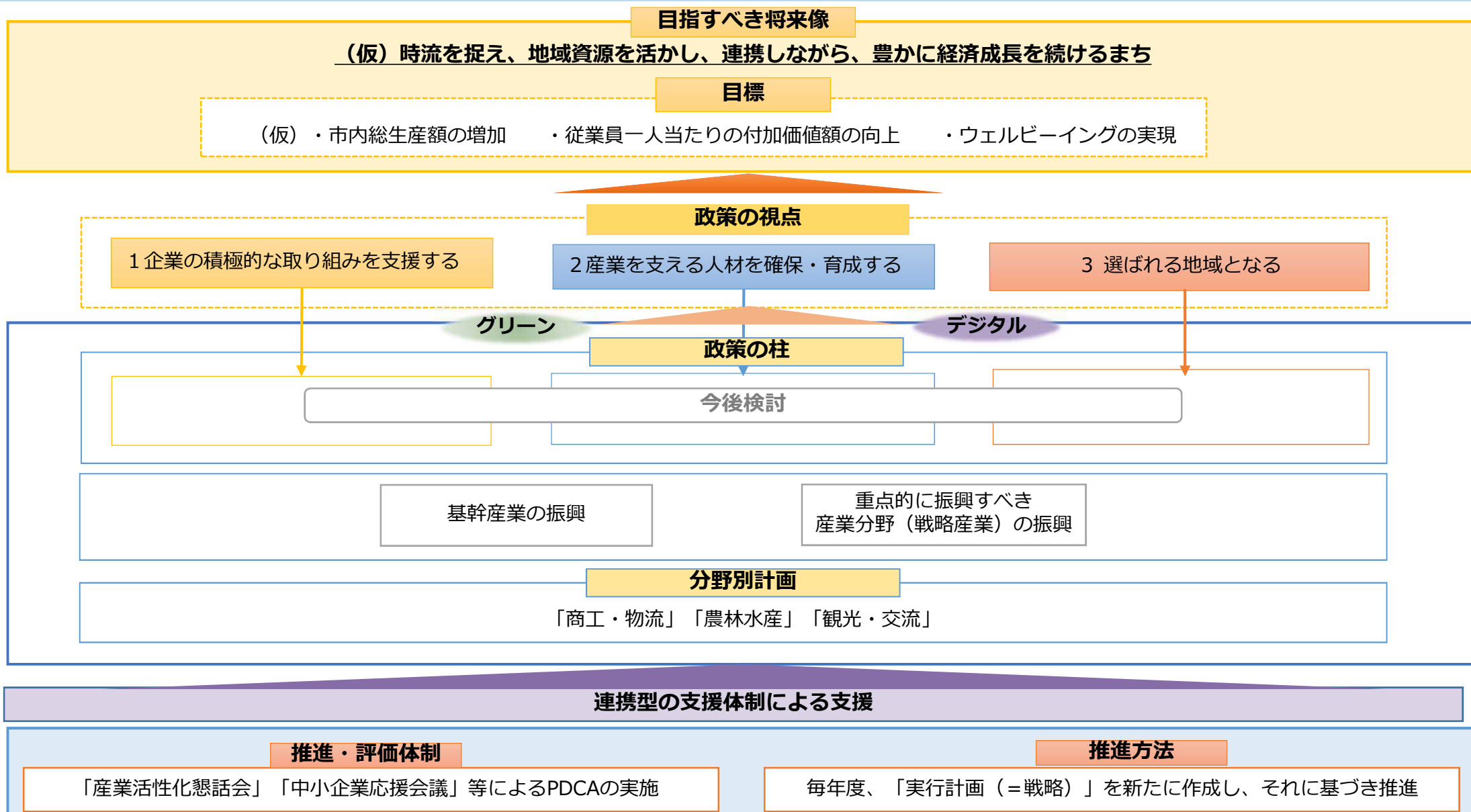
#### 3 選ばれる地域となる

- ⑪ 企業誘致・立地・留置の推進
  - ・誘致等を行う土地の確保
  - ・補助金等による支援
- ⑫ まちの賑わいづくり
  - ・まちなかの活力の維持
  - ・観光施策やまちは劇場との連携
- ⑬ 移住・定住の推進
  - ・市内中小企業へ就職した移住者への支援
  - ・テレワーク移住の推進

### プラン推進における視点

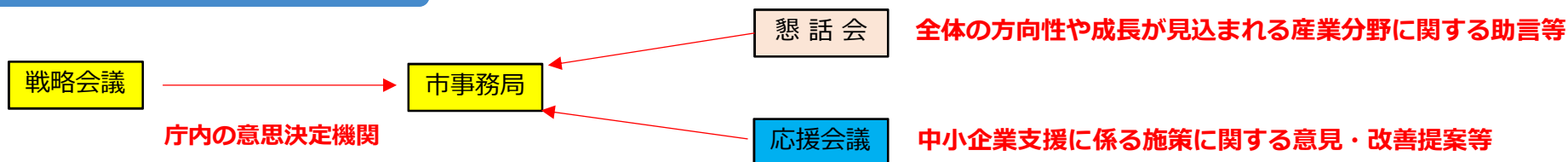
- ⑭ 「目指す姿」の明示
  - ・将来像と適切な目標の設定
  - ・上記に基づく基本方針の設定
- ⑮ PDCAによる適切な進捗管理
  - ・懇話会、応援会議による進捗管理
  - ・毎年度の実行計画の策定

- 「目指すべき将来像と目標」を設定し、それを具体化させるため「政策の柱」を定めることとするが、政策については「企業」「人」「地域」の視点から今後検討する。
- 具体的な政策・施策は、第4次静岡市総合計画の分野別計画を引用する。
- なお、本プランの推進・評価に当たっては、「産業活性化懇話会」「中小企業・小規模企業応援会議」にご意見を伺うとともに、**毎年度 実行計画を定め** 着実に推進。

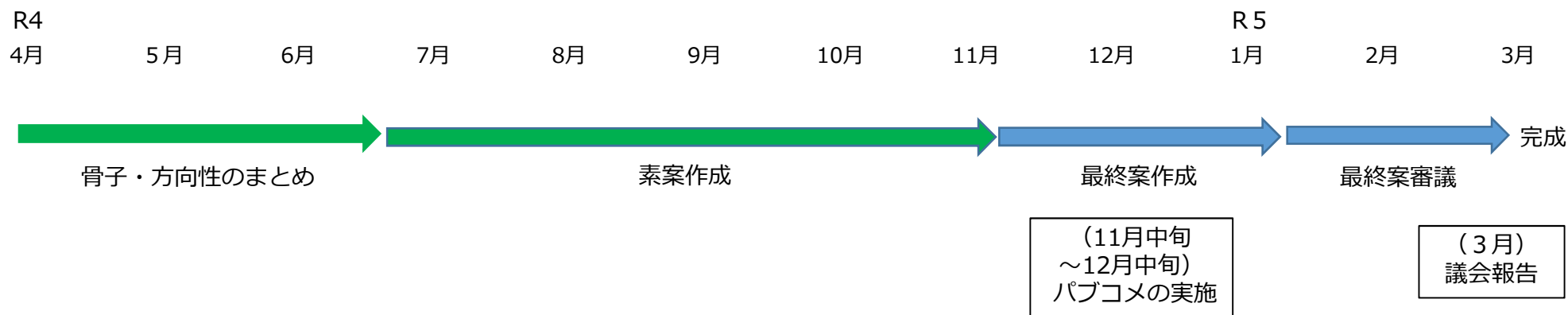


# 7 策定に向けた役割・スケジュール

## 策定に向けた役割



## 策定に向けたスケジュール



戦略会議

応援会議

懇話会

(5月下旬)  
方向性の確認

(6月上旬)  
実施事業の検討

(6月下旬)  
企業等ヒアリングを  
踏まえた方向性確認

(10月中旬)  
パブコメ案の審議

(9月上旬)  
実施事業の確認

(8月下旬)  
素案の方向性  
の確認

(2月中旬)  
最終案の審議

(1月上～中旬)  
パブコメ反映状況  
の報告

(1月上～中旬)  
パブコメ反映状況  
の報告